

# 緑のカーテン取り組み状況

埼玉県本庄市役所 都市計画課

昨今地球温暖化やヒートアイランド現象等、環境問題への人々の関心は高まっており、身近で出来る対策として注目を集めているのが、緑のカーテンの育成です。植物の力を利用して、夏の暑さをやわらげエアコンなどの消費を抑えることに注目し、本市でも緑のカーテンの作成を試みました。

## 1.緑のカーテン育成状況

### ●ゴーヤ育成開始(5.17)

5月17日、本庄市役所議会棟のテラスに、緑のカーテンのネットを設置しました。強風でも飛ばないように、ネットを単管で組んだ物に巻きつけています。プランターを10個用意し、各プランターにゴーヤの苗木を2株ずつ植栽しました。ゴーヤの品種は、太れいし、長れいし、白ゴーヤの三種類です。



### ●16日目(6.1)

ほぼ全ての苗木がネットに巻きつき、順調に成長しているように見えます。5月の中旬から下旬は晴れた日が多く、植物が成長するには適した環境でのスタートでした。6月に入ると梅雨の影響で日照時間が短くなるのが心配でしたが、梅雨入りの発表もなく天気の良い日が続きました。



6月10日に関東地方梅雨入りの発表があり、曇天の天気が続きました。それでも、苗木は順調に成長し、ゴーヤの花が咲き始めました。このころから肥料を与え始めたこともあり、ゴーヤのつるがよく成長しているように見られました。



### ●52日目(7.7)

葉の数が大分増えたことで、見た目が大分緑のカーテンらしくなっており、また最初の実が成りました。今のところ順調に成長しているようですが、未だ梅雨が明ける様子はなく、日照時間も短くなり、ゴーヤの成長への影響が心配でした。



### ●58日目(7.13)

梅雨が明けたような日差しの強い日が2、3日続き、水不足になってしまったのか、黄色くになってしまう葉が多くみられました。つるは順調に成長し、ほぼ全ての苗木がネットの半分ほどに達しています。

ゴーヤの実も徐々に増え、花も咲き、蜂やチョウなどの昆虫がよく集まって来るようになりました。



7月の中旬頃から気温の高い日が続き、水やりの頻度を増やしたことで、葉の状態も持ち直したように見えます。

24日に13個（白ゴーヤ7個、長れいし6個）のゴーヤを収穫し、市役所を訪れた市民の方々に配布しました。



### ●81日目(8.5)

8月に入ったものの梅雨の様な天気が続き、全国的に問題視されている日照不足の影響で、ゴーヤの実が大きくならないうちに黄色く熟してしてしまうものが多く出るようになってしまいました。

7月31日に2回目のゴーヤの配布を行いました。（白ゴーヤ9個、長れいし7個）また、81日目にしてゴーヤのつるがネットの一番上に到達しました。





### ●90日目(8.14)

8月12日ごろより、今までの日照不足を取り戻すように日差しの強い日が続きました。つるも順調に成長し、ゴーヤの実も沢山ついてきましたが、葉の大きさが相変わらず小さいものがほとんどでした。

8月7日(太れいし11個、白ゴーヤ5個)、8月12日(太れいし8個、長れいし4個、白ゴーヤ5個)、8月14日(白ゴーヤ5個、長れいし1個)にゴーヤの配布を行いました。



### ●現在の状況 103日目(8.27)

緑のカーテンを育てて100日が経過しました。プランターでの育成でしたが、ゴーヤのつるもネットの一番上まで到達したものもあり、葉も日陰を作れる程の状態にまで成長し、緑のカーテンらしさが出ていると思います。



## **2.緑のカーテン育成の感想と課題**

緑のカーテンに取り組む上で、今回はゴーヤをプランターで育成しましたが、懸念していたプランターでの問題がはっきりと表れました。

日差しが強い日などは、プランターに蓄えておける水や肥料の量に限界があるため、水不足になり、ゴーヤの葉が枯れてしまいました。また、ゴーヤの状態も地植えの緑のカーテンは、プランターに比べて葉も一枚一枚が大きく、色も濃い緑で力強い印象を受けました。

また、今回一つのプランターにゴーヤを2株植えましたが、これも成長を妨げる要因だと思いました。一つのプランターにゴーヤを2株植えても、つるは高く成長しますが、葉が低い位置にしかできず、高い位置にはほとんど葉が付きませんでした。

もう9月になり、一般的なゴーヤの収穫時期は残すところあと1ヶ月で、本庄市のゴーヤも徐々に葉が枯れ始めてきました。今年は日照不足が全国的な問題となり、ゴーヤの育成環境としては適さない環境が続いたこともあり、次回の機会があれば、今回の育成で分かった問題を踏まえて取り組んでみたいと思います。

## **3.市役所以外の緑のカーテンの普及**

本庄市は、市内の児童が主体となって取り組む事業として、今年度「緑のカーテン設置事業」を実施しました。

当事業は、市全体で温暖化対策に取り組む「涼しいぞ本庄」キャンペーンの一環として、市内の小中学校の一部（市内の保育所6校、小学校12校、中学校2校）が独自に取り組みを始めている緑のカーテンづくりへの支援を行うものです。

埼玉県緑化推進委員会の『緑の募金緑化事業』交付金によって、本庄市内の希望した小中学校、保育所等に緑のカーテン用の資材と種を配布、及び緑のカーテンの育成指導を行い、児童生徒が自ら緑のカーテンを作成、管理することで温暖化の抑制はもとより、子どもたちの緑化に対する興味関心の向上を図ることを目的としています。

（別の添付ファイルに実施状況の写真があります）